



# Technical Note 04-08

## プラグインエリアのツールアイテム

By Jamras Komoncharoensiri, Technical Support Engineer, 4D, Inc.  
Technical Note 04-08

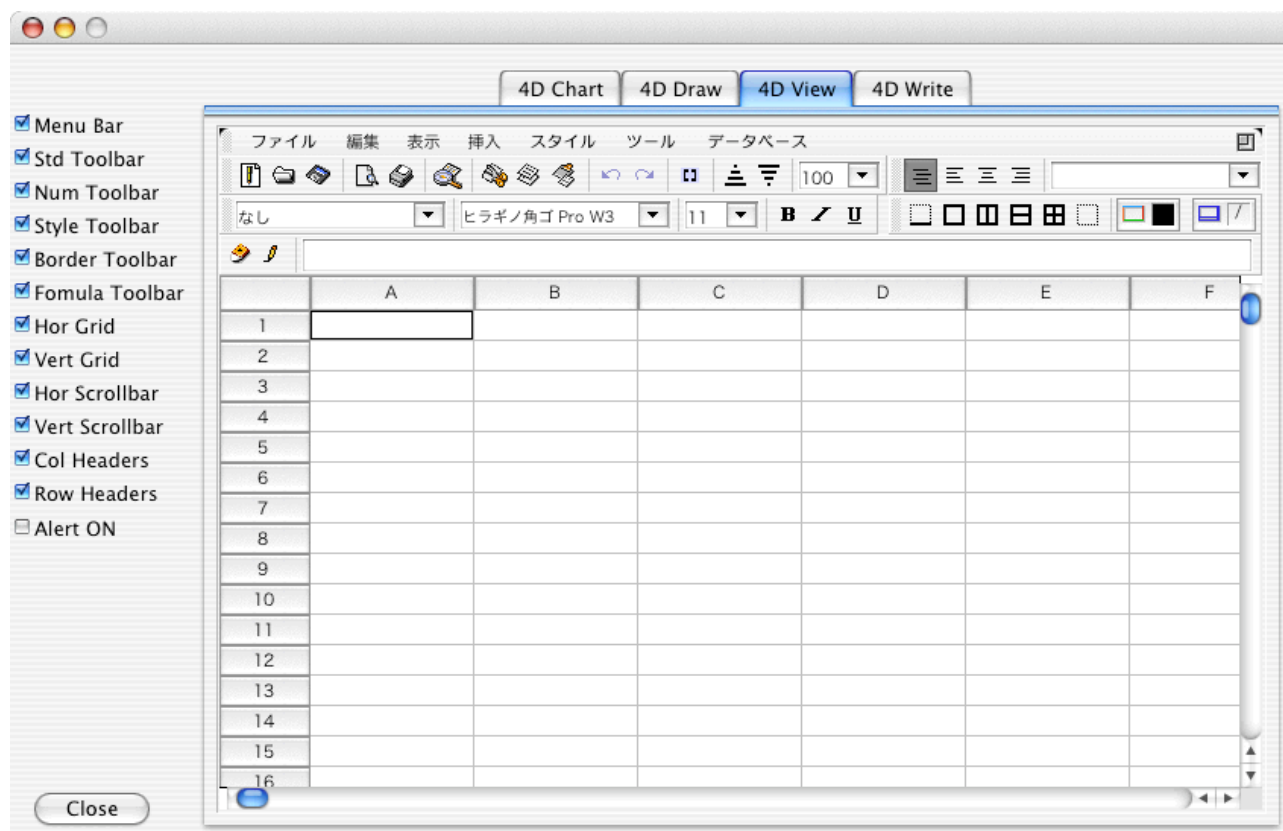
(原題: Displaying and Hiding Tool Features Inside Plug-in Areas)

### 概要

4D プロダクティビティプラグイン (4D Write、4D Draw、4D View、4D Chart) には、メニューバー、ツールバー、スクロールバーなどのインタフェース要素が備わっています。これらはいずれもコマンドで表示/非表示の設定をすることができます。

### サンプルデータベース

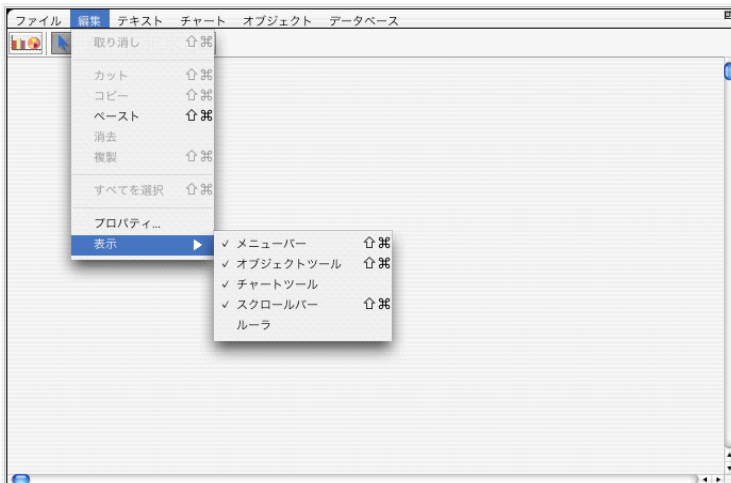
それぞれのプラグインについて、表示/非表示を切り替えられるアイテムの確認ができます。



## 4D Chart

5 種類のツールアイテム（メニューバー、チャートツール、オブジェクトツール、スクロールバー、ルーラ）が存在します。それぞれ編集メニュー/表示を選択することによって、手動で表示/非表示の設定を切り替えられます。項目のチェックは、表示されていることを示しています。

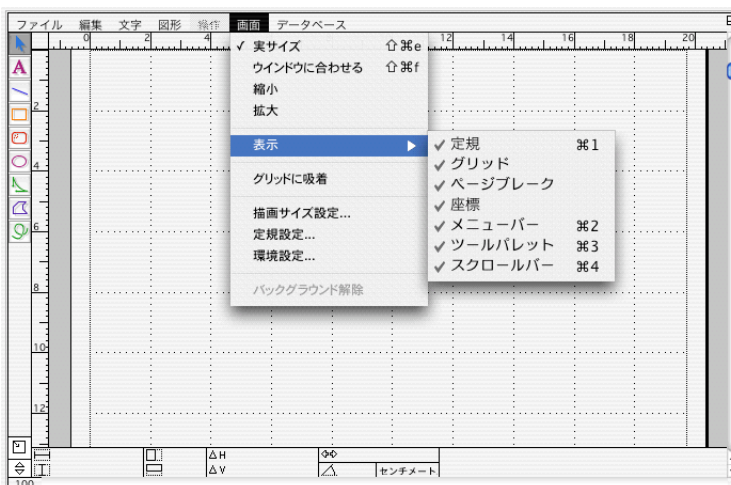
コマンドで制御する場合は、CT SET DISPLAY を使用します。



## 4D Draw

3 種類のエイドアイテム（メニューバー、ツールパレット、スクロールバー）と、4 種類のレイアウトアイテム（定規、グリッド、ページブレーク、座標）が存在します。デフォルトで表示されるのは、メニューバー、ツールパレット、スクロールバー、ルーララインです。それぞれ画面メニュー/表示を選択することによって、手動で表示/非表示の設定を切り替えられます。

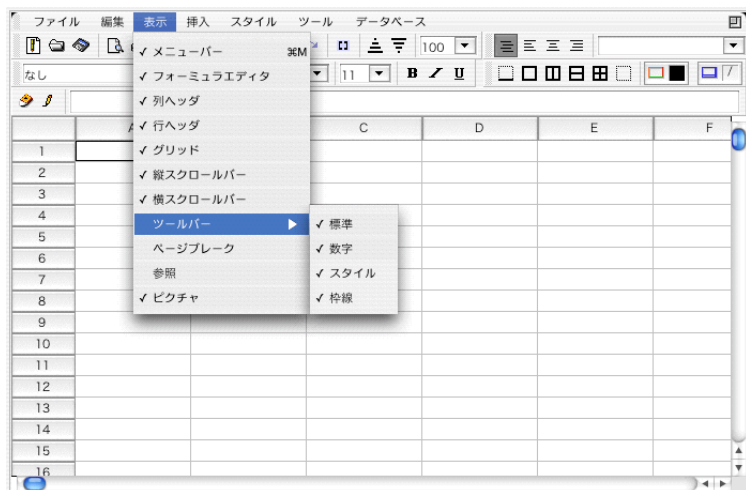
コマンドで制御する場合は、DR DISPLAY OPTIONS を使用します。



## 4D View

多数のツールアイテムが存在し、デフォルトですべて表示されています。それぞれ表示メニューを選択することによって、手動で表示/非表示の設定を切り替えられます。

コマンドで制御する場合は、PV SET AREA PROPERTY を使用します。

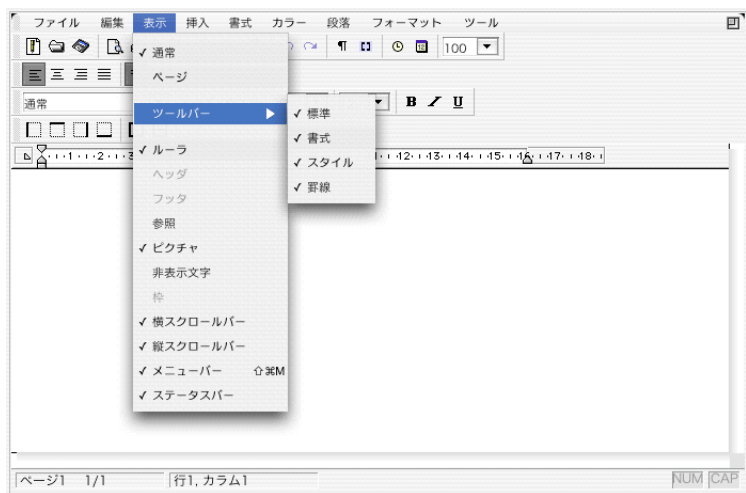


注記:

バージョン 2003 以前の 4D View では、再描画に若干の問題があるため、設定変更後に REDRAW WINDOW を実行することが奨められています。

## 4D Write

9 種類のツールアイテム（メニューバー、標準ツールバー、書式ツールバー、スタイルツールバー、罫線ツールバー、ルーラ、ステータスバー、横スクロールバー、縦スクロールバー）が存在します。それぞれ表示メニューを選択することによって、手動で表示/非表示の設定を切り替えられます。項目のチェックは、表示されていることを示しています。



コマンドで制御する場合は、WR SET DOC PROPERTY を使用します。